

大阪府情報活用能力ステップシート(中学生版)

(中学校で身につけたい情報活用能力)



①学びスキル

A 課題の設定	社会の問題について自分でテーマを決めることができる
B 収集	情報を効果的に収集し、効果や信憑性を考えて活用できる
C 整理・分析	<ul style="list-style-type: none"> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係が理解できる 目的に応じて、表やグラフを用いて情報を整理・分析することができる 目的に応じて、収集した資料を多面的・多角的に考察することができる
D まとめ・表現	相手や目的に応じて情報をまとめ、WEB 等で効果的に表現することができる
E 振り返り・改善	情報活用を振り返り、評価・改善することができる

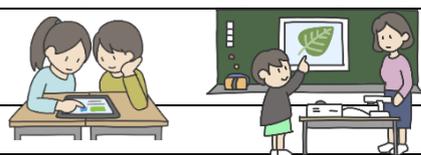
②学校図書館活用スキル



F 本やメディアに親しもうとする態度	<ul style="list-style-type: none"> 本やメディアを使って課題を解決しようとしている 自分の考えを広げたり深めたりすることに、読書を生かそうとしている
G 図書館資料を利用する力	<ul style="list-style-type: none"> 資料、データなどの複数の情報を根拠に、自分の意見を表現することができる 司書の先生(渡部先生)の協力を仰ぎ、学校図書館を利用できる
H メディアを活用する力	<ul style="list-style-type: none"> 参考図書の使用方がわかる 目的意識を持ち、相手の立場に立って情報を発信したり、フィードバックを元に改善したりすることができる 目的に応じて学校図書館の本を複数選択し、比較・検討することができる
I 公共図書館を活用する力	自ら調べたいことや知りたいことを解決するために各種施設(公共図書館、博物館、資料館)を利用し、課題解決のために活用することができる

③ICTの基本的操作スキル

J 入力	キーボードで漢字や句読点等を含めた文章入力ができる(25文字程度/1分間)
K アプリケーション等の使用・操作	複数のアプリケーションを関連づけて操作できる
L 検索	目的に応じて適切に検索できる
M 保存	クラウドを用いて、規則性に従ったフォルダをつくったり、圧縮やパスワードによる暗号化などを用いて管理したりすることができる



④情報モラル・情報セキュリティ

N 情報の取り扱いに関する理解	発信した情報が情報社会や自身に及ぼす影響を理解できる
O 情報セキュリティに関する理解	セキュリティソフトやフィルタリングなど、情報セキュリティ確保のための方法を調べ、自身で行うことができる
P 情報モラルなどに配慮しながら情報を活用する力	<ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI の仕組み、利便性、リスク、留意点がわかる ・より良い回答を引き出すための生成 AI との対話の方法がわかる ・目的に応じてアプリやインターネット上のサービス等を選択して安全に利用できる
Q 情報を適切に取り扱いながら情報社会に参画しようとする態度	<ul style="list-style-type: none"> ・情報に関する個人の権利と重要性を踏まえ、適切に行動しようとしている ・社会は互いに法律やマナーを守ることで成り立っていることをふまえて、行動しようとしている ・情報や情報技術を、持続可能な社会づくりに生かそうとしている

⑤プログラミング

R 問題解決の手順を考える力	アクティビティ図(システム実行の流れと条件分岐を図にしたもの)で表現できる
S プログラミング的思考	プログラムに関わる問題を見つけて、解決策を考えたり、図などで具体化したりすることができる。
T 分解	インプットとアウトプットのあるコンテンツの制作やプログラミングを行うために、情報を必要な要素に分解することができる
U 抽象化	目的や意図に合わせ、必要な動きを見だし、課題解決に必要な機能をプログラミング言語等を用いて表現することができる
V 組み合わせ	安全・適切なプログラムとなるように、複数の命令を組み合わせたり、他者と協働して粘り強く、より効果的なプログラムとなるよう評価、改善及び修正することができる



年 組 番 名前